

市で行っている人権に関する相談窓口

相談

人権相談 (人権政策課)
TEL: 092-921-2121

人権擁護委員による人権 (悩みごと) 相談を実施しています。
差別、いじめ、暴力、虐待、セクハラなどのさまざまな人権問題に関する相談をお受けします。

生活の困りごと相談 (生活支援課)
TEL: 092-921-2121

家計 (お金) に関する相談、就労相談、生活相談など、日常生活での困りごとについて、専門の相談員がお受けします。借金を何とかしたい、生活資金がない、仕事が見つからないなどの相談をお受けします。

子どもの発達についての相談 (きらきらルーム)
TEL: 092-408-9050

太宰府市在住の未就学児 (小学校入学前) の発達の不安や悩みについて、専門のスタッフが随時相談をお受けします。

女性相談 (人権政策課)
TEL: 092-921-2121

配偶者や恋人などから受ける暴力に関することやさまざまな困難を抱える女性のための相談を、専門の相談員がお受けします。
この他にも、いろいろな事業を実施しています。

教育・啓発

小・中学校での人権学習
(9ヶ年カリキュラム・社会科カリキュラム)

太宰府市では、差別を許さない人権感覚・豊かな人権感覚を育むために、「9ヶ年カリキュラム (小1~中3)」では、心身の発達段階に応じた人権全般を学習し、「社会科カリキュラム (小6~中3)」では、各学年に応じた部落差別に対する科学的認識を身につける学習を行っています。

同和問題啓発強調月間市民講演会

福岡県では毎年7月を「同和問題啓発強調月間」と定め、県内各地でさまざまな啓発イベントを実施しており、太宰府市でも同和問題をテーマとした市民講演会を実施しています。

人権講座「ひまわり」

同和問題をはじめ、女性問題、障がい者問題、ハンセン病問題など、さまざまな人権問題について、市民講座を開設し、「学び」や「気づき」の場を提供しています。

男女共同参画市民フォーラム

毎年12月の人権週間に合わせて、男女の性別を問わず、誰もが個人として尊重され、いきがいを実感できる社会を実現するため、市民啓発事業を実施しています。

人権教育・人権学習講師派遣

市民からの依頼を受けて、人権に関する講師を派遣し、太宰府市が差別の解消に向けて、どのような取り組みを行っているかをお話しします。

わたしたちの手で しあわせをひとつに

第67集



テーマ

【第1章】すべての人たちが互いに認め合う社会へ

【第2章】人権・同和問題について学ぼう

お問い合わせ
太宰府市教育委員会 社会教育課 教務係 人権・同和教育担当
太宰府市 人権政策課 人権・同和政策係
〒818-0198 太宰府市観世音寺一丁目1番1号 TEL: 092-921-2121

過去の啓発冊子
などは市ホーム
ページで公開中



太宰府市・太宰府市教育委員会・太宰府市人権啓発事業企画運営会議 編集委員

はじめに



2025年11月、東京で「デフリンピック」が開催されます。みなさんは「デフリンピック」をご存じですか？オリンピックやパラリンピックは知っていても、デフリンピックは知らなかったという人もいるかもしれません。

きこえない人だけが参加できる大会であるデフリンピックは、手話の普及や、デフスポーツ（きこえない人のスポーツ）の魅力を伝えること、国籍や障がいのあるなしに関係なくあらゆる人がつながることなどをめざした国際大会です。

一人ひとりが個性や能力を活かし、すべての人たちが互いに認め合い、しあわせに生きる社会をつくるために、私たちは何ができるでしょう。デフリンピックについて知ることを通して考えてみましょう。

① デフリンピックについて知ろう

デフリンピックとは

きこえない・きこえにくい選手(デフアスリート)のための国際的なスポーツ大会です。デフリンピックとは、デフ + オリンピック のことで、デフ(Deaf)とは、英語で「きこえない」という意味です。競技中は補聴器などを外して、全員が公平にきこえない立場(55 デシベル未満の音がきこえない状態。普通の会話がきこえない程度)で行います。

※55デシベルは普通の話し声程度の音の大きさ



オリンピックと同じように4年に1度、夏季大会と冬季大会が2年ごとにそれぞれ開催されます。ルールはオリンピックとほぼ同じですが、きこえない選手のために見て判断するさまざまな工夫がされています(視覚的情報保障)。

※情報保障とは年齢や障がいの有無などに関係なく、誰でも必要な情報に簡単にたどり着けるようにすることをいいます。

「国際手話」が使われることも特徴です。手話の表現は国によって異なります。日本には日本の手話があり、日本の手話の中でも地方によって表現の仕方が異なる「方言」があります。どの国・地域の人であってもコミュニケーションをとれるようにした手話が国際手話です。

このマークは国際ろう者スポーツ委員会の公式ロゴマークなんだよ。中央の○はきこえない・きこえにくい人が目で見えることを中心として生活していることから「目」を表しているよ。



もっとデフリンピックについて知りたいな。



デフリンピックの歴史

第1回は、1924年にフランスのパリで開催されました。2025年11月に開催される東京2025デフリンピックは、100周年の記念すべき大会であり、日本では初めての開催になります。

第25回 夏季デフリンピック競技大会 東京2025 (東京2025デフリンピック)

大会期間 2025年11月15日～26日(12日間)

参加国 70～80か国・地域

選手数 約3,000人



デフリンピックの工夫(視覚的情報保障)



工夫1 サッカー

主審がフラッグを掲げる(笛とフラッグを使用)



工夫2 陸上

スタートランプがつく



- 陸上
- ビーチバレーボール
- 自転車(MTB)
- ハンドボール
- オリエンテーリング
- 卓球
- テニス
- レスリング(フリースタイル)
- バドミントン
- ボウリング
- サッカー
- 柔道
- 射撃
- テコンドー
- バレーボール
- レスリング(グレコローマン)

- バスケットボール
- 自転車(ロード)
- ゴルフ
- 空手
- 水泳

全部で 21競技あります。

楽しみだなあ!



※ICSDロゴに関する一切の知的財産権は、国際ろう者スポーツ委員会(ICSD)が保有し、日本では全日本ろうあ連盟が管理しています。

② デフアスリートの思い

東京2025デフリンピックへの出場をめざしている、太宰府市出身、また太宰府市の大学に在学中の選手(デフアスリート)をご紹介します。競技を始めたきっかけやデフリンピックについて、皆さんに伝えたいことなどお話をうかがいました。



矢ヶ部 紋可さん

(株式会社ゼンリンデータコム)
第24回夏季デフリンピック パドミントン混合団体戦銀メダル、女子ダブルスベスト4

バドミントンを始めたきっかけ

小学校1年生のときに、きこえない人のバドミントンクラブができて、参加したことがきっかけです。ろう(生まれた時から、または幼児期からきこえない人。主に手話を使用する人が多い)の先輩でデフリンピックに出場する方がいて、いつか自分もデフリンピックに出場したいと意識するようになりました。



海外へ行って感じた日本とのちがいは

前回の夏季デフリンピック(ブラジルで開催)に出場した時、ブラジルの方たちは、障がいがあることをプラスにとらえているように見えました。堂々としていて障がいがあるように見えません。日本では、自分たちは障がいがあるからと、すこし遠慮がちになる場面が多い気がします。

お互いを支えようとする気持ちを大切に

いま、手話を使う人が増えてきているなど感じています。先日デフバドミントンの大会があった時に、審判の方はきこえる方でしたが、手話を使ってくれました。また、飲食店

に行った時も、お店の方が手話で「ありがとう」と言ってくれました。相手が歩み寄ってくれるということがうれしいです。これからデフリンピックに向けてもっと手話が広まって、障がいのありなしにかかわらずお互いが積極的にコミュニケーションをとろうとする気持ちを持つようになるといいなと思います。

読んでいますか

関東に引っ越して、新しく知り合った方たちと話すときに、出身はどこ?と聞かれて「太宰府です」と答えると、「知ってる!」「いいところだね!」とたくさん言われます。太宰府市出身であることを誇りに思って、これから練習に励んで、みなさんに良い結果を報告できるようにしたいと思っています。

矢ヶ部 真衣さん

(筑紫女学園大学)
第24回夏季デフリンピック パドミントン混合団体戦銀メダル、女子ダブルス・シングルスベスト4

バドミントンを始めたきっかけ

姉(矢ヶ部 紋可さん)がバドミントンのクラブに参加していたことがきっかけで、5歳から始めました。

デフリンピックへの思い

ブラジル大会へ行って感じたのは、デフリンピックの注目度がとても高かったことです。ブラジルではデフリンピックの観客席は満席で、小さい子からご年配の方まで幅広い年齢層の方々に応援してくれました。日本でもデフリンピックが注目されるといいなと思います。

ブラジル大会では新型コロナウイルス感染症の影響で、日本選手団が全競技で会期中に辞退するという形になりました。最後まで戦いきれな

かったという悔しさがあるので、2025年のデフリンピック東京大会では個人でも団体でも金メダルをとりたいという目標があります。

たくさんの人に支えられている

大学卒業後は小学校の先生になりたいです。きこえない子どもを持つ家族にかかわる教育相談などもできたらいいなと思っています。今は福岡高等聴覚特別支援学校でバドミントンの指導をしています。バドミントンの指導もですが、マナーや団体意識を育てるという面での指導が多いです。自分自身、高校を卒業してから、たくさんの方々に助けられていたことに気づけたので、高校生にもたくさんの方に支え

られていることを伝えていきます。

読んでいますか

みんながすごしやすい社会にするためには、お互いが思いや考えを伝えあうことが大事だと思います。お互いが協力し合える社会をつくれるように、私も今できることを精一杯がんばりたいです。



久住 文華さん

(日本経済大学)
第24回夏季デフリンピック 女子サッカー4位・第4回デフサッカー世界選手権大会5位(8人)

サッカーを始めたきっかけ

兄がサッカーをやっていたので、3歳のときに同じクラブの幼児クラスに入ったことがきっかけです。小学校4年生から日本代表と呼ばれるようになって、5年生の時に父が女子デフサッカー日本代表の監督になり、監督と選手という関係になったこともあって、自然とデフリンピックを意識するようになりました。



インタビューに同席いただいた手話通訳者の山本美代子さんにも、デフリンピックへの思いをうかがいました。

デフサッカーについて

デフサッカーのルールはきこえる人のサッカーとほぼ同じですが、主番が笛と旗で合図を出します。試合中、アイコンタクトはとても大事です。アイコンタクトをとりながらボールを持っている人の判断に合わせます。

デフリンピック東京大会では金メダルをとりたいです!

海外へ行って感じた日本とのちがいは

海外では、社会として手話通訳をつけるのが当たり前になっていることが多いです。日本では、情報保障として手話通訳を自分たちで準備しなければいけないことが多いです。

デフスポーツを発信したい

今後、デフスポーツのイベントや講演などをやりたいです。私が子どものとき、パラアスリートの方が学校にいられて実際に走る姿を見たことで、障がいがあってもこんながんばれるんだ、カッコいい!と、とても感動した経験があります。私もデフスポーツを体験してもらうなど、子どもたちに発信ができればいいなと思っています。

よんでいる方へ

まずはデフスポーツを知ってほしいです。そしてデフアスリート個人についてもぜひ興味をもっていただきたいです。いろんな選手を知って応援してもらえると嬉しいです。

山本 美代子さん

太宰府市 健康福祉部 福祉課 専任手話通訳者

デフリンピックとのかかわり

デフリンピックのボランティア募集があれば、ぜひ参加したいと思っています。現在、デフバドミントンのナショナルチームの合宿が福岡で開催される時に、手話通訳として参加しています。

今回のデフリンピックは日本で開催されますし、100年目という記念の大会でもあるので、何らかの形で関わりたいです。

手話通訳者としての思い

手話通訳者として市役所にいることで、きこえない・きこえにくいことで生活に支障が出ている人たちに対して、何らかのつなぐ役割ができたらいいなと思っています。

太宰府市役所の福祉課にいるので、手話のことなど、ききたいことがあるときは気軽に声をかけください。



デフアスリートのみさんの思いを知って、もっとデフリンピックが楽しみになってきたね! みんなで応援しよう!

インタビュー掲載部分は一部です。インタビューの全文はこちらから読めます。



③ わたしたちにできること

手話で応援してみよう!

手話について知っているかな?
手話は目で見ることは(言語)なんだよ。
手や指、表情などを使って、見て分かるように表現するんだ。

手話を覚えて応援
したいな。

デフリンピックの応援を
するときの手話を紹介す
るよ!



がんばれ

両手で拳を作り
2回下におろす



はくしゅ

両手を
上にあげ、
手を
ひらひらと
させる



耳がきこえない・きこえにくい人に関するマークをご存じですか?



耳マーク

耳がきこえない・きこえにくいということをあらわすマークです。



聴覚障害者標識

耳がきこえない・きこえにくい人が運転していることをあらわすマークです。



手話マーク

「手話言語で対応できます」または「手話言語で対応をお願いします」ということをあらわすマークです。

手話でつながろう

デフリンピックの応援のほかにわたしたちにできることはないかな?

手話はことば(言語)であると認めること。そして、きこえない人が手話を使って安心して生活できる社会を実現することをめざして、全国で手話言語条例が制定されてきているよ。



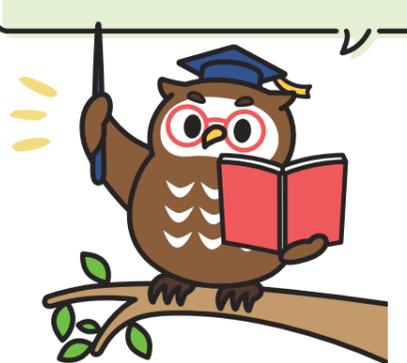
福岡県では2023年4月1日に福岡県手話言語条例が施行されているんだよ。

福岡県
手話言語条例
全文はこちら



みんなが手話で話せるようになると、きこえない人ももっとなかなよくなるね!

そうだね!
お互いの違いを理解して支え合うことで、人と人がつながる社会になっていくね!



おわりに

デフリンピックでは、「スポーツによる平等」や「心・情報・街のバリアフリー」を重要なテーマとしています。障がいがある人とないない人のコミュニケーションや、誰もが必要な情報にたどりつける環境づくりを進めることで、誰ひとり取り残さない社会の実現をめざしています。

障がいのある人、外国人の人、いろいろな年齢や性別の人など、私たちには一人ひとり、違いや個性があります。互いに相手を知ろうとする気持ちを持ち、さまざまな社会のしくみを考えていくことで、互いを認め合い、しあわせに生きることでできる社会をつくっていきましょう。

※QRコードでリンクしている資料は、太宰府市役所 社会教育課にて印刷したものをお渡しできます。

第2章

人権・同和問題について学ぼう

① 日常生活の中にある思い込みや偏見について



こんな発言をきいたことは
ありませんか？



女性なのに
社長だって。
すごーい！

ご年配なのに、
IT得意
なんですね。



お父さんと
お母さんに
伝えてね。



そっとしておけば
部落差別は
なくなるのでは？



(外国人に対して)
日本語
お上手ですね。



子どもは、
元気なのが
一番！

若いのに、
礼儀正しいね。



このように人をほめたり、何気ない気持ちで言ったりした言葉が、結果的に、当事者を傷つけてしまうことがあります。このことを「マイクロ・アグレッション(小さな攻撃)」といいます。相手を傷つけるつもりはなく発した言葉が、結果として相手を傷つけることもあるのです。



言われた人たちの気持ちは
どうでしょう？



自分で選んで
女性に、男性に
生まれたわけ
でもないのに。



IT企業で
働いています
けど何か？



うちには
お父さんしか
いないんだ
けどな。

部落差別が
なくなるから、
今でも苦しんで
いるんだけどな。



外国籍だけど、
日本で生まれ
育ったのにな。



この子は
生まれつき運動が
できないんです。
でも、笑顔が
素敵でしょ。



若者はみんな
失礼な人だと
思っている？

ふとした日常の言葉の中で、いつもは「私は差別しない。気にしていない」と思っている、インターネットで見たり、まわりの人からきいたり、あるいは結婚や転居など、自分に関係することがらになると、「気になって」トゲを含んだ言葉になってしまうことがあります。何気ない気持ちで言った言葉が、知らず知らずのうちに様々な人の心を痛めているかもしれません。発言する前にちょっとだけ考えてみてはどうでしょう。



② 部落差別 (同和問題) について

生まれた場所や住んでいる場所などを理由にして差別することを「部落差別」といい、日本特有の差別です。今でも「差別する」意図を持って、不利になるようなうわさ話を広げたりする人がいます。

部落差別って、昔のことでしょ？

同和地区とかまだあるの？

私は今、悩んでいるんだけどな。

私、そこに住んでいますけど。

そっとしておけば、部落差別はなくなる。

学校で教えるから、部落差別が残っているんですよ。

部落差別がなくならないから、今でも苦しんでいるんだけどな。

正しく学ぶこと、真実を学ぶことで差別がなくなるはずですよ。

私は差別していませんよ。

差別は「する」「しない」ではなく、「ある」んです。一緒になくしましょう。



さまざまな人たちの思いに気づける自分でいたいなあ。

③ 差別をなくすには

さまざまな差別への思い込みや偏見をなくしましょう。

- 1 発言をする前に、ちょっと一呼吸おいて考えて発言すること
- 2 一番大切なことは、相手の立場を考えて、尊重すること
- 3 そして、学び続けること

部落差別をはじめあらゆる差別をなくすための取り組み

太宰府市では「太宰府市人権宣言」、「太宰府市部落差別の解消の推進に関する条例」に基づき、差別をなくす取り組みを行っています。思い込みや偏見を少しでもなくすために、ともに学んでみませんか？



- 小・中学校での人権学習
- 人権講座「ひまわり」
- 同和問題啓発強調月間市民講演会
- 男女共同参画市民フォーラム など

※くわしくは裏表紙をご覧ください。

お読みいただいたみなさんへ

太宰府市では、これからも市民のみなさんとともに、部落差別をはじめあらゆる差別をなくす取り組みを行っていきます。

私たち一人ひとりが学び続けることで、思い込みや偏見をなくし、すべての人が安心して過ごせるしあわせなまちをめざしていきましょう。